



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月25日

上場取引所 東

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長

(氏名) 秋津 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長

(氏名) 榎本 実

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 平成29年1月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,925	△16.2	△500	—	△557	—	1,682	—
28年3月期第3四半期	16,614	△7.4	△79	—	△141	—	△442	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,566百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △434百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	59.56	40.57
28年3月期第3四半期	△15.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	25,898	8,345	32.2
28年3月期	27,548	6,779	24.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 8,345百万円 28年3月期 6,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	21,000	△8.4	0	—	△100	—	2,000	—	70.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	28,300,000 株	28年3月期	28,300,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	52,712 株	28年3月期	51,462 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	28,248,179 株	28年3月期3Q	28,249,118 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				0.00	0.00
第2種優先株式					
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				0.00	0.00

- (参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第1種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.0\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第2種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.25\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
4. 補足情報	
(1) 受注高及び受注残高	P. 9
(2) 売上高	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を始めアジア新興国等の経済情勢の不確実性の高まりや米国大統領選挙等の影響による金融市場の変動などにより不透明感が残る状況で推移しつつも、生産・輸出に持ち直しの動きが見られ、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社におきましては、平成28年7月7日開催の取締役会において、東海旅客鉄道株式会社（以下、JR東海）が推進するリニア中央新幹線計画に協力するため、プリント配線板の製造を分担している連結子会社の山梨アビオニクス株式会社の敷地の一部をJR東海に譲渡し、当該敷地から建物等を収去する補償としてJR東海から補償金を収受すること、また、プリント配線板事業を沖電気工業株式会社グループに事業移管することを決議し、同日発表しております。

このような事業環境において、当第3四半期連結累計期間における売上高は、宇宙・防衛事業においては、防衛市場での国内調達が増加し、また、民需事業においては、新規顧客獲得のため海外市場の開拓も含め積極的に展示会に出展したものの、既存製品が競争激化により低迷及び前期に計測事業を譲渡したことにより減少したため、前年同期比26億89百万円減少の139億25百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

損益に関しましては、売上高の減少等により、営業損失5億0百万円（前年同期79百万円の営業損失）、経常損失5億57百万円（前年同期1億41百万円の経常損失）となりましたが、JR東海からの収去する資産等に対する補償金を特別利益として36億94百万円計上し、また、事業移管に係る費用等を特別損失として10億4百万円計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、16億82百万円（前年同期4億42百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、収去する資産等に対する補償金に関しましては、特別利益として上記計上額の他に、平成30年3月期に14億77百万円、土地の引渡時に22億16百万円を計上する予定であります。

セグメント別の状況

情報システム

情報システムは、売上高が防衛市場で国内調達が減少している影響により、前年同期比20億11百万円減少の75億63百万円（21.0%減）となりました。

損益に関しましては、諸経費の削減に努めたものの売上高の減少により、前年同期比4億16百万円悪化の2億80百万円のセグメント損失となりました。

電子機器

電子機器は、接合機器がスマートフォン等情報機器に使用される電子部品の小型化に対応する生産設備の需要を取り込み、輸出も好調に推移したことから増収となったものの、計測事業譲渡による減収に加え、赤外線機器は競争激化により既存製品の拡販に苦戦し、また感染症対策向け機器の減少等による影響で減収となったことから、売上高は前年同期比4億12百万円減少の43億91百万円（8.6%減）となりました。

損益に関しましては、プロダクトミックスの変動による利益の増加及び諸経費の削減に努めた結果、前年同期比88百万円改善の1億38百万円のセグメント利益となりました。

プリント配線板

プリント配線板は、半導体計測装置向け製品及び車載向けの半導体高温スクリーニングテスト用基板が好調に推移しましたが、平成28年7月7日に公表いたしました「プリント配線板事業の移管」の影響もあり、売上高は前年同期比2億66百万円減少の19億69百万円(11.9%減)となりました。

損益に関しましては、生産性の向上による原価低減に努めたものの、売上高の減少により前年同期比93百万円悪化の3億58百万円のセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億49百万円減少し、258億98百万円となりました。これは主にたな卸資産が9億94百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が28億29百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ32億15百万円減少し、175億53百万円となりました。これは主に借入金45億98百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億65百万円増加し、83億45百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益16億82百万円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年10月28日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

なお、当社グループの売上高は、季節的変動によって下期に偏ることから、通期の業績予想に対し第3四半期連結累計期間までの売上高並びに利益の割合が低くなっております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,145	2,313
受取手形及び売掛金	11,495	8,666
たな卸資産	4,182	5,177
その他	740	761
貸倒引当金	△2	—
流動資産合計	18,561	16,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,375	1,295
土地	4,004	4,004
その他(純額)	632	547
有形固定資産合計	6,013	5,847
無形固定資産		
投資その他の資産	292	211
退職給付に係る資産	1,835	1,903
その他	916	1,089
貸倒引当金	△71	△71
投資その他の資産合計	2,680	2,921
固定資産合計	8,986	8,980
資産合計	27,548	25,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,471	3,797
短期借入金	5,405	1,989
未払法人税等	13	520
賞与引当金	809	440
工事損失引当金	—	1
製品保証引当金	39	38
その他	1,467	1,386
流動負債合計	11,208	8,174
固定負債		
長期借入金	3,233	2,051
再評価に係る繰延税金負債	994	994
退職給付に係る負債	5,308	5,343
事業移管損失引当金	—	965
その他	24	24
固定負債合計	9,560	9,379
負債合計	20,768	17,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
資本剰余金	750	750
利益剰余金	△2,540	△858
自己株式	△13	△13
株主資本合計	4,091	5,773
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	2,253	2,253
退職給付に係る調整累計額	434	318
その他の包括利益累計額合計	2,688	2,571
純資産合計	6,779	8,345
負債純資産合計	27,548	25,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,614	13,925
売上原価	13,110	10,996
売上総利益	3,504	2,928
販売費及び一般管理費	3,583	3,428
営業損失(△)	△79	△500
営業外収益		
技術指導料	5	3
受取手数料	4	4
その他	10	3
営業外収益合計	20	12
営業外費用		
支払利息	72	55
その他	9	14
営業外費用合計	82	70
経常損失(△)	△141	△557
特別利益		
受取補償金	—	3,694
特別利益合計	—	3,694
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事務所移転費用	13	—
事業構造改善費用	22	—
事業移管損失	—	1,004
特別損失合計	37	1,004
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△178	2,132
法人税等	263	450
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△442	1,682
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△442	1,682

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△442	1,682
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△0	—
退職給付に係る調整額	8	△116
その他の包括利益合計	8	△116
四半期包括利益	△434	1,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△434	1,566
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期累計(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,575	4,803	2,236	16,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	9,575	4,803	2,236	16,614
セグメント利益 (営業利益)	135	49	△265	△79

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,563	4,391	1,969	13,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,563	4,391	1,969	13,925
セグメント利益 (営業利益)	△280	138	△358	△500

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(1) 受注高及び受注残高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成28年3月期 第3四半期累計		当四半期 平成29年3月期 第3四半期累計		(参考) 平成28年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	8,312	5,521	6,652	5,385	12,602	6,297
電子機器	4,730	1,033	5,164	1,512	6,390	739
プリント配線板	2,136	777	2,085	751	2,834	636
合計	15,179	7,332	13,901	7,650	21,826	7,673

(2) 売上高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成28年3月期 第3四半期累計		当四半期 平成29年3月期 第3四半期累計		(参考) 平成28年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	9,575	57.6%	7,563	54.3%	13,088	57.1%
電子機器	4,803	28.9%	4,391	31.5%	6,757	29.5%
プリント配線板	2,236	13.5%	1,969	14.2%	3,074	13.4%
合計	16,614	100%	13,925	100%	22,920	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成28年3月期 第3四半期累計	当四半期 平成29年3月期 第3四半期累計	(参考) 平成28年3月期
	海外売上高	海外売上高	海外売上高
情報システム	5	7	30
電子機器	2,044	2,245	2,700
プリント配線板	186	251	278
合計	2,235	2,504	3,009
海外売上高の連結 売上高に占める割合	13.5%	18.0%	13.1%